

DXが進む仙台から東北6県へ安定供給を実現する



株式会社KOYO
営業本部 部長 / 東北担当
田中 貴志 氏

株式会社KOYOは、カナメ・ホールディングスの物流部門として、主としてきた関西圏に加え、3年前に東京都板橋区、そして今回新たに仙台に拠点を開設しました。



仙台進出の背景：東北を網羅する「最短距離」

関西圏での既存取引先であるディスカウント系スーパーが東北に進出したことを契機に、東北のチルド供給拠点を構えたいというお話があり、当社がその機能を担うため仙台に倉庫を構えました。

仙台は東北の要です。東北6県の商圈をカバーするならば、仙台に拠点を構えるのが最適だと実感しています。グループとして空白だった「東北・北海道」エリアの全国ネットワーク化が進み、PR面でも大きな効果を生んでいます。



倉庫での作業の様子。
社員とアルバイトが
合わせて50名ほどいて、
3割は女性とのこと。

人材確保と定着を後押しする都市環境 仙台の「働く心地よさ」

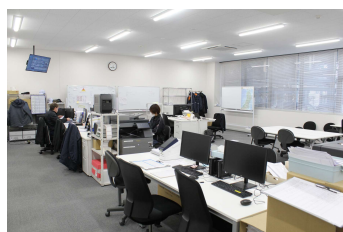
仙台は、ビジネスの合理性に加えて、人材の採用と定着に資する都市環境が魅力だと考えています。企業にとって、採用候補者の裾野を広げ、入社後の定着率を高めやすい点は大きなメリットです。

一方で、会社としてではなく一生活者としても魅力を感じています。「ほどよく都会、ほどよく自然」というバランスに、食の豊かさや人の温かさが加わり、働くことと暮らすことの両立がしやすいと感じます。

私自身、博多出身で単身赴任が長く、東京・京都・滋賀・大阪などさまざまな地域を経験してきましたが、仙台の街並みには親しみやすさがあり、人の温かさを実感しています。こうした「働く心地よさ」は、組織や現場の職員を支える重要な要素だと捉えています。

仙台進出の決め手になった「助成金」

仙台市の助成金が非常に手厚く、進出の際は大きな後押しとなりました。申請手続きでは、現場に即した丁寧かつ迅速なサポートをいただき、スムーズに手続きすることができたと感じています。人手不足など業界共通の課題についても、今後の連携に期待しています。



倉庫に併設するオフィス。
ペーパーレスなど業務効率化
に向けて取り組んでいる

東北6県への安定供給とDX推進で、 より成長していきたい

仙台泉センターでは、チルド・冷凍の2温度帯で、地域のスーパー・小売との連携を強化しております。東北6県全体へのさらなる拡大に向け、品揃えの拡充と配送効率の最適化を進めています。

あわせて、受発注や在庫、配送の各プロセスでDXを一層推進し、社内外の業務効率化とパフォーマンス向上を図っていきます。

お問い合わせ

仙台市経済局産業集積推進課：TEL 022-214-8276 / E-mail kei008040_13@city.sendai.jp

仙台市経済局首都圏プロモーション担当（東京事務所内）：TEL 03-3262-5765 / E-mail som001310@city.sendai.jp

仙台市企業進出ガイド：http://www.city.sendai.jp/invest/